

整理番号	HT28287	分野	医歯薬学・化学	(キーワード)	生薬 漢方薬
------	---------	----	---------	---------	--------

徳島文理大学

漢方薬の調製-生薬の組み合わせで漢方薬（紫雲膏）を作ってみよう！

先生(代表者)	野路征昭 (のじ まさあき) 徳島文理大学薬学部・准教授				
自己紹介	植物は様々な物質を生産する能力をもっています。昔から私たちは植物が生産する物質を薬として利用してきました。植物はなぜ、また、どのようにして、このような多種多様な物質を生産しているのでしょうか？この疑問に答えるために、植物の有用物質生合成のメカニズムを遺伝子レベルで解明する研究に取り組んでいます。				
開催日時・ 主な募集対象	平成 28 年 8 月 27 日(土)	(対象)	高校生	(人数)	30名
集合場所・時間	徳島文理大学(徳島キャンパス)薬学部		(集合時間)	9時00分～9時30分	
開催会場	徳島文理大学薬学部(徳島キャンパス) 住所: 〒770-8514 徳島県徳島市山城町西浜榜示180 アクセスマップ: http://www.bunri-u.ac.jp/about/access/tokushima.html				
内 容					
<p>漢方薬はいくつもの生薬(植物、動物、鉱物)を組み合わせてつくられる薬です。漢方薬は長い年月をかけて、患者さんの症状に合った生薬の組み合わせ(処方)を生み出してきました。本プログラムでは、江戸時代の名医、華岡青洲によって開発され、ひび、あかぎれ、しもやけ、あせも、ただれ、外傷、やけどなどに効能がある漢方薬の塗り薬、紫雲膏(しうんこう)の調製を体験してもらいます。各自調製した紫雲膏は、持ち帰って、外傷、やけどなどに使用してみてください。また、薬学部附属薬用植物園での見学会で、薬用植物を見て・触れることで、実際に漢方薬で使用されている植物を身近に感じてもらえればと思います。</p>					
					
ムラサキ	紫根	漢方薬・紫雲膏の調製			
スケジュール				持 ち 物	
9時00分～ 9時30分 受付(21号館1階 薬学部事務室前)				筆記用具(白衣、保護メガネはこちらで用意します)	
9時30分～10時00分 開会挨拶、学部長からの歓迎のことば、日程の説明と科研費の内容紹介					
				特 記 事 項	

10時00分～10時45分	講義「植物がつくりだす薬用成分について」 講師：野路征昭	今回の漢方薬、紫雲膏の調製では、危険な化学薬品は一切使用しないので、比較的 安全な実験です。参加者2～3人に1人のスタッフが伴い、 実験をサポートします。実験で調製した漢方薬・紫雲膏は お土産として全員に持ち帰ってもらいます。
10時45分～11時30分	薬用植物園での見学会	
11時30分～12時00分	実験の説明	
12時00分～13時00分	昼食(参加者と本学教員・学生との懇親； 薬用茶を賞味)	
13時00分～15時30分	漢方薬・紫雲膏の調製(生薬の加熱・混合)	
15時30分～16時00分	クッキータイム	
16時00分～16時30分	紫雲膏の調製 (軟膏の練り合わせ・容器への充填)	
16時30分～16時45分	ディスカッション、アンケート記入	
16時45分～17時00分	修了式「未来博士号」授与 記念撮影 解散	

《お問合せ・お申込先》

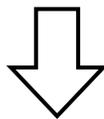
所属・氏名：	徳島文理大学薬学部・野路征昭
住所：	〒770-8514 徳島市山城町西浜榜示180
TEL 番号：	088-602-8440
FAX 番号：	088-655-3051
E-mail：	mnoji@ph.bunri-u.ac.jp
申込締切日：	平成28年 8月20日(土)

※当プログラムは先着順にて受付を行います。

※当プログラムは定員を超えた場合は申込締切日後に抽選を行い、8月22日(月)までに郵便(またはメール)にて全員にご連絡します。

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
野路征昭	H25-H27	基盤研究C	25460145	重要薬用植物ミシマサイコにおけるサイコサポニン生合成機構の全容解明



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。